

広報

EBETSU

えべつ

あなたとまちをつなぐ

目次

- 9 e ウオッチと専用アプリを使って応募しよう! ほか
- 10 「小中一貫教育」の取り組み
- 11 子どもに関する悩みや困り事 ほか
- 25 【徹底調査 vol.9】1000年以上前の歴史を感じよう
日本最北端の古墳「江別古墳群」
- 26 無料相談窓口・後期【保存版】

2024

11

vol.1021

陶芸が身近なまち、えべつ

セラミックアートセンター 30周年記念特集



セラミックアートセンターで開催されている、やきもの初心者向けの体験講座「やきものを始めよう」。受講者の皆さんは真剣なまなざしで、茶碗や箸置きなど、作りたい形に粘土を成形していました。(9月1日撮影)

陶芸が身近なまち、えべつ

江別市は「れんがのまち」といわれていますが、なぜ江別のれんがが有名になったか知っていますか？

江別のれんがは明治24年から製造が始まったといわれています。現在の野幌駅から野幌森林公園にかけて、れんがの原料となる粘土が豊富に含まれる土壌があつたため、江別にれんが工場が多く建ちました。最盛期には8社の工場が操業し、学校、サイロ、倉庫などで数多く江別のれんがが使用され、江別にれんがの街並みが作られました。

そんな歴史を持つ江別市で、やきものの文化に触れられる施設として、平成6年にセラミックアートセンターが開館し、今年で30周年を迎えます。

今回の特集は、長年愛されてきたセラミックアートセンターの魅力に迫ります。

詳細 セラミックアートセンター

☎ 385-1004

セラミックアートセンターの中庭にある、原田ミドー氏が制作した「風の門」。春になると中庭には桜が咲き、フォトスポットとしても人気があります。

セラミックアートセンター 施設案内

展示スペースと工房スペースに分かれ、やきもの文化をさまざまな角度から楽しめるのが魅力です。ラウンジや中庭など、ゆったりとくつろげるスペースもあります。



公式キャラクター
ビートくん



教室・レンタル工房

陶芸教室を開催できるスペース。電動ロクロがある工房もあり広い作業スペースが魅力です。



北のやきもの展示室

定期的に展示作品を入れ替えるほか、企画展示の会場にもなります。



窯かま まし つ

窯が4つあり、一番大きい窯では一度に1,000作品以上を同時に焼くことができます。



れんが資料展示室

北海道のれんがの歴史や積み方などを、映像展示やクイズで学べます。



図書室

陶芸や芸術に関する本が並んでいます。立ち着いて陶芸を学びたい方におすすめです。



やきものショップ

市内在住の芸術家が制作した陶器やガラスの食器などの作品を購入できます。



過去の展示
セラミックアートセンターでは、イベントや特別展示なども行っています。

右の写真は、平成7年に開催されたセラミックアートセンター開館後初の展示会『北のやきもの軌跡 ―箱館焼から北斗窯まで―』の様子です。江戸時代から始まった北海道のやきもの歴史を時代順、窯別に紹介しました。

約30年後の令和6年には、『卒寿記念 鈴木藏の志野展』を開催しました。



Interview

セラミックアートセンター 陶芸指導員

土屋 楓 さん

Tsuchiya Kaede

ものづくりが好きで、陶芸に興味を持ち、専門学校で陶芸を専攻。卒業後はセラミックアートセンターに勤務し、今年で8年目になる。



あなたも陶芸を始めてみませんか？
体験講座に参加して、興味が湧いたら、
工房で好きなやきものを一緒に作りましょう！

どんな仕事をしていますか？

セラミックアートセンターには、私を含めて3名の陶芸指導員がいます。主に陶芸体験などの企画・運営やレンタル工房を利用する方のサポートを行っています。

陶芸体験では、指導員が作成している様子を見た後、実際に作品を作ってもらいます。作り方の相談を受けたり、指導をしたりしています。

やきものが完成するまでの流れは？

まずは、粘土を作りたい形に成形します。次に成形した粘土を乾燥させ、窯に入れて素焼きします。素焼きが終わったら、下絵付けや釉薬などで装飾をします。その後、もう一度窯に入れ、本焼きをして完成です。

やきものを焼く窯の温度は約1200〜1300度まで上昇するため、窯から作品を取り出せるようになるまで、1週間程度やきものを冷ます必要があります。そのため、一つの作品が完成するまで1カ月程度かかります。

人気の体験講座は？

初心者に人気のある「やきものを始めよう」という講座で、週1回、約1カ月間の講座を年に三度開催しています。この講座では、コップや茶碗、お皿などを制作してもらいます。何度でも受講できるので「やきものは好きだけど、個人で工房を借りてまではちょっと…」という方は、こちらの講座をたくさん受講して、少しずつスキルアップをするのがおすすめです。慣れてきたら電動ロクロを使用する講座などを受講して、どんどんやきものを好きになってもらえたら嬉しいです。



生徒に教える土屋さん

また、他の体験だと、2年前から始まった「親子で板作りのお皿を作ろう！」は、未就学児のお子さんも体験に参加できるようになり、参加者が増えて人気体験になりました。

この体験とは別に、夏休みと冬休みの時期に親子陶芸体験を開催していて、自由研究のためにこの体験に参加する人が多いです。

小さいころから陶芸の面白さに触れることができるのはとても魅力的だと思います。

セラミックアートセンターの魅力は？

設備が整っているので、粘土を準備するだけで陶芸ができる場所です。

やきものを焼くための窯は4基あり、そのうちの2基は個人利用ができます。個人利用ができる窯は、2カ月先の予約まで受け付けていますが、いつも予約が埋まるくらい人気です。利用者の多くは、やきもの市などのイベントに出店する方です。

また、「陶芸指導員が常駐している」ことも魅力の一つです。

他の施設などでは、設備などは借りることができても、指導員がいけないことが多いようですが、セラミックアートセンターでは、わからない事などがあれば、私たち陶芸指導員に気軽に相談することができます。

セラミックアートセンターの魅力は、陶芸ができるだけではなくありません。江別のれんがの歴史に触れたり、芸術家が制作した作品に触れたり、観たりすることができ、企画展示室では、セラミックアートセンター利用者の作品展や美術展などが開催され、時期によっていろいろな芸術に触れます。やきものだけではなく、ロビーを使用してコンサートなどのイベント



作り方や色の相談に乗ります

も開催しています。

風の門が設置されている中庭もおすすめです。周りが自然に囲まれているため、四季を感じられますし、晴れた日はベンチに座って一息つくこともできます。

セラミックアートセンターはいろいろな楽しみ方ができますので、ぜひ一度、気軽に足を運んでみてください。

やきものの魅力は？

自由度が高いところ、完成するまでのワクワク感を味わえるところが魅力です。

どんな形を作っても構わないので、形や色などたくさん選択肢があります。たとえ形を作る段階で失敗したとし



陶芸指導員が見本を作成します

ても、最初からやり直すことができます。自由に自分の好きな形をとことん追求できるところが面白いと思います。

そうして作ったものを窯に入れる瞬間は、どんな出来栄になるかと期待が高まります。しかし、作品を焼いて窯から出してみると、すでに割れてしまっていたり、思い描いていた形に仕上がっていないかったり、望んでいた色にならないこともあります。その失敗を糧に、何度もチャレンジして、うまくいったときはとてもうれしいので、完成した作品に直面する瞬間は、プレゼントボックスを開ける時のようなドキドキを味わえます。私は陶芸を約10年続けていますが、失敗をすることもありますが、うまくいくと嬉しいですし、失敗したとしても「今度はこうしてみよう」と前向きに取り組んでいます。

講座を受講した方や工房を利用した方には、最初は体験だけと思っているうちに、魅力を知って、どんどん好きになって、今も続けている、という方がたくさんいます。多くの人に作品が出来上がるまでのワクワク感を体験してもらいたいと思っています。



「やきものを始めよう」での制作風景

Interview

セラミックアートセンター 利用者

板東 美千代 さん
Bando Michiyo

趣味で陶芸をはじめ、気付いたら仕事以外の時間のほとんどを陶芸に費やすようになった。「心にふれる器」をモットーにアマチュアとして陶芸を続けている。

陶芸はハードルが高いと感じるかもしれませんが、やってみると楽しくて、没頭できます！興味がある方、一步踏み出してみませんか？

陶芸を始めたきっかけは？

岩見沢市に住んでいた時に、岩見沢市内の陶芸施設で開催されていた体験教室に参加したことがきっかけで、陶芸を始めました。

何度か通っていましたが、その陶芸施設が閉鎖になってしまいました。まだ陶芸を続けたかったので、陶芸ができる場所を探したところ、職場がある江別市内に、セラミックアートセンターがあることを知りました。そこからレンタル工房を約4年間利用しています。これからも続けていきたいと思いい、より職場とセラミックアートセンターに通う時間が短くなるよう、今年の10月に岩見沢市から江別市に引っ越してきました。

どんな作品を作っている？

私は「心にふれる器」をモットーに、お皿やコップなどをメインに制作しています。使い勝手の良さを追求するのではなく、作品を見てもらった時に、手に持ってもらって「これ、いいな」と思ってもらえるような、デザインにこだわった作品を作っています。



作品の形を整えている板東さん

普段使われなくても、置いてあるだけで心が華やかになるようなやきものを目指して、仕事以外の時間のほとんどをやきもの制作に費やしています。

作品は、市内で年に1回開催される「えべつやきもの市」や「サッポロモノヴィレッジ」などのイベントや、個人のインスタグラムアカウントで販売したり、知り合いの美容室の一角に物販コーナーを設けてもらったりしています。

セラミックアートセンターのおすすめポイントは？

レンタル工房が素晴らしいと思います。電動ロクロは8台もあるので、他の人が使っていて、自分が使用できない

セラミックアートセンター 今後のイベント開催情報

陶芸・絵付け体験

①陶芸体験②絵付け体験のどちらかを選んで体験します。

【日時】11/10(日)10:00～12:00

【対象】小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)【定員】①②合わせて20名

【持ち物】エプロン(汚れてもいい服装)

【料金】①800円 ②900円

【申込方法】体験日の前日までに電話(☎385-1004)または直接申し込み

冬の親子陶芸体験 ～丸皿を作ろう!～

オリジナルの丸皿を親子で作ります。

【日時】11/30(土)・12/1(日)10:00～12:00

【対象】小学生とその保護者

【定員】各日先着20名

【持ち物】エプロン(汚れてもいい服装)

【料金】800円

【申込方法】11/16(土)から体験日の前日までに電話(☎385-1004)または直接申し込み

親子で板作りのお皿を作ろう!

粘土を板状に伸ばし、縁を立ち上げてお皿を作ります。

【日時】12/8(日)10:00～12:00

【対象】未就学児～小学生とその保護者

【定員】16名【持ち物】エプロン

【料金】800円

【申込方法】11/24(日)から体験日の前日までに電話(☎385-1004)または直接申し込み

特集の感想をお待ちしています

▼ 郵送・ファクスで送る

〒067-8674 高砂町6 江別市広報広聴課宛

☎ 381-1070

▼ 市HPアンケートフォーム

市HP内「広報えべつ」で検索するか右の二次元コードを読み込んでください



ことはほとんどありません。最初は工房だけ貸してもらっているものだと思うのですが、指導員の方々が作品作りについて、個性を尊重しながら、分かりやすいアドバイスをくれるので、とても助かっています。好きなものを作り続けられているのは、指導員の方々のおかげかもしれません。

やきものの魅力は?

「自分を表現できるところが魅力だと思っています。」

初めて岩見沢市で体験講座を受講した時は、「下手だ」ときっぱり言われてしまいました。続けるかどうか悩んでいた時に読んで、芸術家の岡本太郎さんの本に「うまく作る必要なんかない。うまくできた作品なんて面白くもへつたくれもない。どんどん下手にやりなさい」という言葉があっ、「下手でいいんだ」と思えました。それからは、自分が好きだと思える作品を作って、その作品が、手に取ってくれた人の心に響いて欲しいと思うようになりました。私は、長く続けることで、自分の中に目指すべきものが生まれると思っています。これから陶芸を続けていきます。



他の利用者と情報交換

何度も粘土を触って、自分の作りたい作品を表現していけば、楽しさを実感できると思います。

下の二次元コードから、板東さんの作品を観ることができます↓



板東さんの作品

やきもの、陶芸で
彩り豊かな日常に

セラミックアートセンターでは、これまで多くの方がやきものの魅力に触れてきました。また、陶芸の魅力に惹かれ、陶芸を長く続けている方も多くいます。

やきものや陶芸との出会いは、あなたの日常に彩りを添えてくれるかもしれません。

セラミックアートセンターで、あなたの心を揺さぶる作品に出会ったり、一つの作品が完成するまでのワクワク感やドキドキを肌で感じたりしてみませんか?

税金、配偶者の控除は パートの収入額によって変わります

所得税と住民税

パートの給与収入が年間103万円を超える場合は、当年に所得税がかかります。年間100万円を超える場合は、翌年に住民税がかかります。（扶養控除などの所得控除によって税金がかからない場合もあります）

配偶者控除など

今年中に夫婦双方に収入があり、一方がパート労働の場合、パートの給与収入が年間103万円以下の場合には配偶者控除、年間201万6千円未満の場合には配偶者特別控除が受けられます。

【詳細】 市民税課 市民税係
☎ 381-1012

パート給与のみの収入金額	自分自身に税金がかかるか		配偶者控除の対象になるか	配偶者特別控除の対象になるか
	住民税	所得税		
100万円以下	かからない	かからない	なる 所得税控除額 38万円 住民税控除額 33万円	ならない
100万円超 103万円以下	かかる			
103万円超 201.6万円未満		かかる	ならない	なる 所得税控除額 3～38万円 住民税控除額 3～33万円
201.6万円以上				ならない

※ 上表は控除を受ける本人（パート給与収入がある人の配偶者）の合計所得が900万円以下（給与収入のみの場合1,095万円以下）の場合です

※ 控除を受ける本人（パート給与収入がある人の配偶者）の合計所得が1,000万円（給与収入のみの場合1,195万円）を超える場合は、配偶者控除・配偶者特別控除は受けられませんが、パート給与収入がある人の給与収入額が103万円以下であれば、同一生計配偶者として扶養人数に含めることができます。なお、扶養人数は住民税の算定に使用されます。そのほかの場合は市HPでご確認ください



税法上の扶養と健康保険の扶養は異なります

健康保険の扶養に入ることができる条件は、自身の労働時間、労働日数、月額給与などによって異なりますので、詳しくは勤務先にご確認ください。

いざという時のために、確認しよう

11月9日は、119番の日

【詳細】 消防署管理課 ☎ 382-5453

119番通報で伝えること

「火事」「救急」の区別、場所（携帯電話の場合は市町村名）、氏名を伝えた時点で消防隊員は出動します。続けて、状況（症状）などの情報が確認されます。

通報時は焦らず、指令員の問いかけに答えましょう。

電話による受け答えが困難な方へ

『Net119 緊急通報システム』での通報ができます。聴覚や言語機能に障がいのある方が利用できる登録制のシステムです。チャット機能やGPSによる現在地の自動通知機能があり、市外からの通報もできます。

※ファクスでの119番通報も受け付けています

二次元コードを読み取り、空メールを送信すると登録できます。読み取りできない場合は r.ebetsu@net119.speccan.jp に空メールを送信してください。



Net119 緊急通報システムを使った通報



救急、火事のこと
ちらかを選択

通報している
場所(自宅か外出先)を通知

外出先なら、
地図で場所を
通知



災害場所や病院の問い合わせ先

◇災害情報…江別市消防本部災害案内 ☎ 050-5536-7062

◇病院情報…救急医療情報案内センター

☎ 0120-20-8699（携帯電話の場合 ☎ 011-221-8699）

5,000円相当の江別の特産品などが当たる！ eウォッチと専用アプリを使って応募しよう！



市民の皆さんの健康意識向上や健康づくりの推進のため、デジタル機器を活用した「生涯健康プラットフォーム推進事業」を進めています。

現在、市で無料貸出中の「eウォッチ」と専用アプリ「eダイアリー」を利用して健康ポイントを貯めると、5名に江別の特産品（5,000円相当、江別商工会議所協賛）、1,500名にギフトカード（1,000円分）が当たる抽選に応募できます。

【詳細】eダイアリー事務局

☎ 050-5445-6201



【応募条件】

500ポイントごとに1口応募できます。健康ポイントは、eウォッチとeダイアリーの利用で付与されます。eウォッチは専用サイトまたはeダイアリー事務局に電話（平日9:00～18:00）で申し込みできます。

【期間限定キャンペーン】

すでに登録済みの方を含め、アプリを利用している方に健康ポイント480ポイントを付与しています。

1週間程度の使用で1口分のポイントが貯まり、抽選に応募できます。



専用サイト

デジタルで生活をより便利に！

【詳細】デジタル政策室 ☎ 802-8315

●スマホなんでも相談窓口

スマホ操作に関する疑問を解消するための相談窓口です。機種や通信会社に関係なく、予約不要で無料相談ができます。※混雑状況により、対応できない場合があります

【日時】11/11(月)、11/25(月)、12/2(月)

11:00～16:00 (12:00～13:00 除く)

【会場】市役所本庁舎（案内窓口付近のスペース）



●出張スマホ教室

スマホ教室車両が各会場に来て、スマホの使い方を教えます。

【日程・開催内容】

会場	実施日
大麻公民館	11/8(金)
イオンタウン江別	11/15(金)・12/6(金)
ホクレンショップゆめみ野店	11/29(金)
市役所玄関前	11/11(月)・25(月)・12/2(月)

※上記アプリの体験会ではありません

▼スマホ体験会

- ①基礎編 11:00～12:00
- ②LINEの使い方
13:00～14:00
- ③応用編 14:30～15:30
各回定員3名

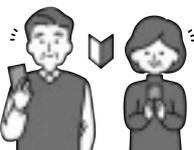
▼スマホ相談会

16:00～16:45
定員3名

【申込方法】

各開催日の前日までに、電話で申し込み

☎ 0800-111-9442（フリーコール）受付時間 9:00～17:00



●eライフステーションを設置します

市内4カ所に設置するeライフステーションは、血圧や体重・体脂肪、ストレスレベルを測定することができ、その結果をスマホアプリ「eライフトレーナー」で管理、確認することができます。

詳細は右の二次元コードでご確認ください。(eライフステーションの詳細は11月上旬公開予定)

▼専用サイト



【設置場所】

市役所本庁舎、保健センター、市大麻出張所、区画整理記念会館

【設置時期】

11月中旬から順次設置予定

【その他の詳細】

北海道情報大学健康科学研究センターへメール（☒ e-lifetrainer@do-johodai.ac.jp）で問い合わせ



中学校区の連携・協働による 「小中一貫教育」の取り組み

令和5年4月から全ての市立小・中学校で導入した「小中一貫教育」が2年目を迎えました。

市内8つの中学校区では「目指す子ども像」を実現するために「サブ目標」を立てています。また今年度は、昨年度までに実施した内容を評価し、新たな工夫を加えた取り組みを行っています。

例えば、小学生が中学校に登校して行う体験授業の回数を増やしたり、中学生が小学生に勉強を教える夏休み学習会を継続して行ったりするなど、昨年度までに実施した内容

の改善や充実を図っています。他の中学校区の取り組みを参考にすることで、各中学校区でお互いに情報共有して更なるレベルアップを目指しています。

また、学習・生活の目標や約束事などを示した「学習・生活スタンダード」の改訂や、教員同士が指導方法を学び合い、系統的な指導に生かす取り組みなどを行っています。

小中学校の教職員が連携・協働し、子どもたちのために「小中一貫教育」を進めています。

【詳細】学校教育課 ☎ 381-1058

各中学校区での取り組みのご紹介

第三中学校区 新体力テストの合同実施



中学生が小学生にお手本を見せ、励ましたり、応援したりして、記録が向上すると自分のことのように喜んでいました。

第一中学校区 中学校登校での体験授業



小学生が中学校に登校して授業を体験することで、中学校の先生や授業の雰囲気は今まで以上に感じる事ができました。

大麻東中学校区 校内研修への相互参加



小中学校の教職員が、他校の授業改善・学習指導方法や、子どもたちの実態などを学び合い、中学校区内の「系統的な指導」や「一貫した指導」に生かしています。

中央中学校区 学習・生活スタンダードの作成



他の中学校区の取り組みを参考にし、新たなスタンダード（目標や約束事など）を作成しました。中央中学校の美術部がデザインした4段階のスタンダードを基に、一貫した指導を行います。

取り組みに参加した小中学生の感想

第二中学校区 中学生による小学校夏休み学習会での学習支援

夏休み期間中に、中学生が小学校の学習会に参加し、学習支援を行う取り組みです。希望した中学生が小学校を訪れ、小学生たちに勉強を教えました。



【小学生の感想】

- ・夏休みの宿題をたくさん進めることができ、うれしかったです。
- ・中学生が他の小学生に教えているところを見て「すごいな。私もうまく説明できるようになりたい」と思いました。

【中学生の感想】

- ・素直にわからないところを聞いてくれて、うれしかったです。どうすればわかりやすく問題を解くことができるか、小学生と一緒に楽しみながら考えることができました。
- ・問題が解けて「うれしい」という顔がとてかわいくて、癒されました。自分の勉強の復習にもなり、人とのつながりもできて、良い1日になりました。

各中学校区の取り組みの詳細は、市HP内の「江別市における小中一貫教育」にある「つなぎ つむぐ」や各学校のHPをご覧ください。



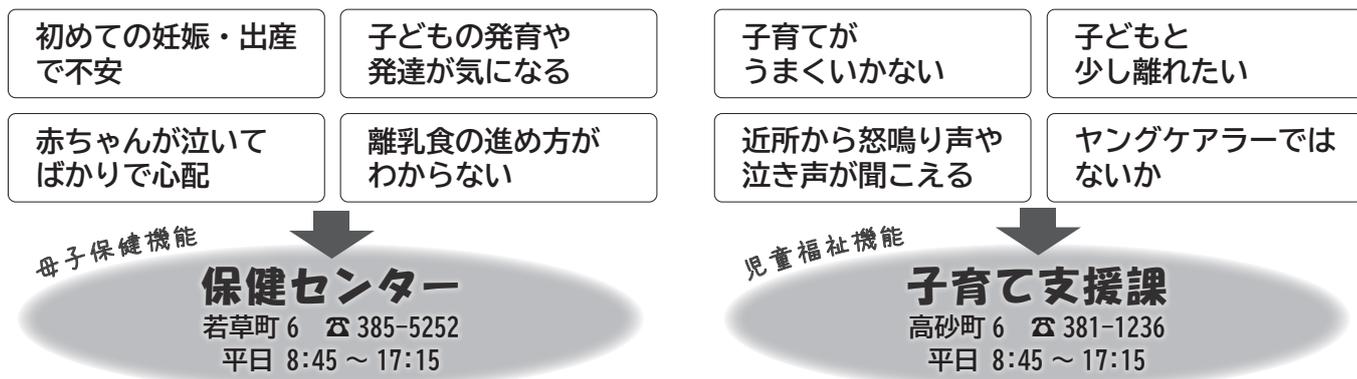
一人で悩まず、ご相談ください 子どもに関する悩みや困り事



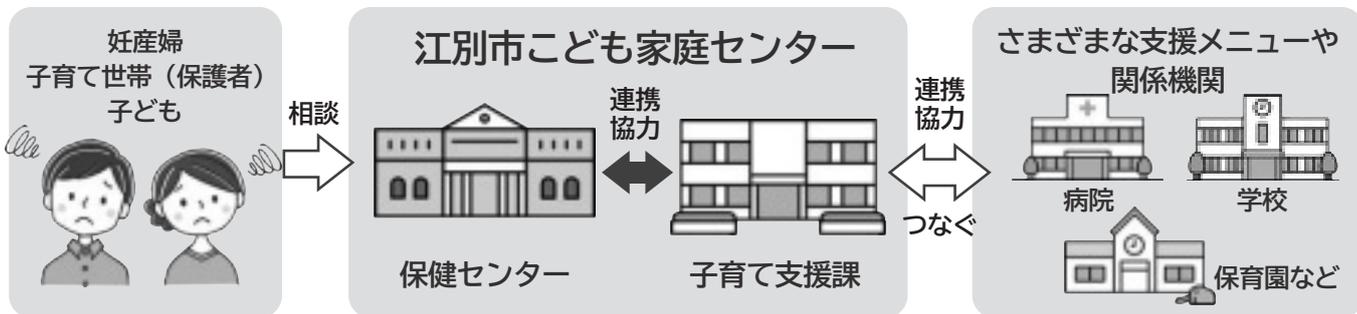
市では、保健センター（母子保健機能）と子育て支援課（児童福祉機能）を連携して運営しています。今まで以上に連携を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うため、令和6年10月に「江別市こども家庭センター」を設置しました。子どもや子育てに関する相談、虐待やヤングケアラーなどに関する相談をお受けしています。

【詳細】 子育て支援課 ☎ 381-1236

▼ 次のような悩みや困り事の相談をお受けしています



▼ 地域の関係機関と連携・協力した、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行います



ヤングケアラー かなと思ったら…

ヤングケアラーとは、家事や家族の世話（ケア）など、お手伝いの範囲を超えて日常的に引き受けている子どものことです。ヤングケアラー自身がSOSを発信することは難しいため、周囲の大人が気付いて相談窓口につなぐことが大切です。

【相談先】

- 北海道ヤングケアラー相談サポートセンター
東野幌本町 7-5（セリオ野幌店内）
☎ 0120-516-086（平日 8:45 ~ 17:30）※時間外は転送で対応
✉ hokkaido.young.carer2022@gmail.com
ショートメール 080-9612-1247
- 子育て支援課 ☎ 381-1236（平日 8:45 ~ 17:15）
- 教育支援課 ☎ 381-1409（平日 8:45 ~ 17:15）

児童虐待などの心配事があったら…

身体的・性的・心理的虐待やネグレクトなど、少しでも虐待の可能性を感じたら、相談しましょう。

11月は「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施しています。期間中は、児童虐待防止に向けて、集中的な広報・啓発活動に取り組んでいます。

【相談先】

- 児童相談所 虐待対応ダイヤル
いちはやく
189（24時間対応）
- 子育て支援課
☎ 381-1236（平日 8:45 ~ 17:15）
- 北海道子ども相談支援センター
☎ 0120-3882-56（24時間対応）

